

# トヨコ 無収縮グラウト材 汎用

## 流動性、充填性に優れたプレミックス無収縮モルタル

### 高い流動性

普通モルタルに比べ、優れた流動性を有しているため、複雑な形状の空隙も充填することができます。

### ノンブリーディング

充填後の空隙の発生を招くブリーディング現象がないので、設定されたレベルを確実に保ちます。

### 無収縮性

コントロールされた膨張材により、収縮がないため充填された後、ベースとの密着を確実に保ちます。

### ノンメタリック

セメント系グラウト材ですので、錆などによる施工面の変色等が生じず、長期的な安定性に優れています。

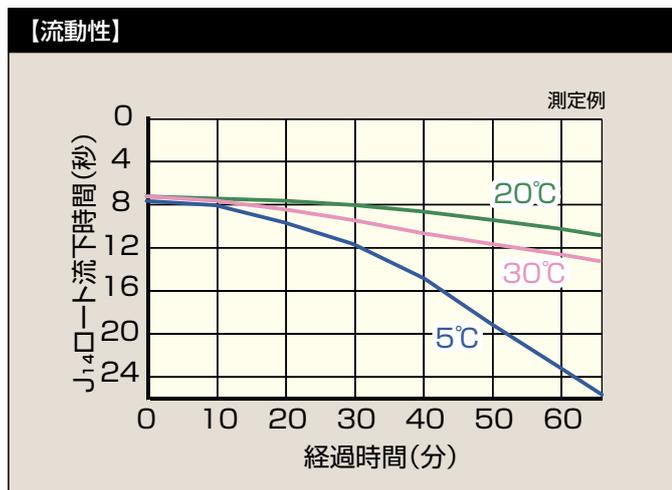


## 性能

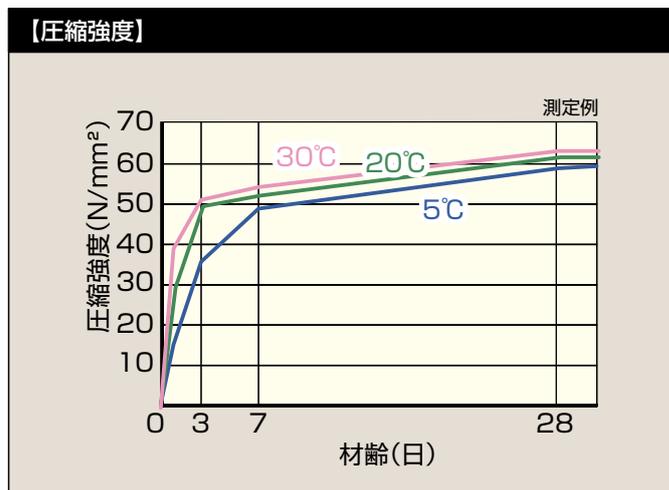
項目	規格値	測定値
コンシステンシー(J14ロート法による)	8±2秒	7.5秒
ブリーディング率	2時間後2.0%以下	0
膨張収縮率	材齢7日で収縮しない	+0.04%
凝結時間	始発1時間以上	5時間06分
	終結10時間以内	6時間24分
材齢3日圧縮強度	25N/mm <sup>2</sup> 以上	52.0N/mm <sup>2</sup>
材齢28日圧縮強度	45N/mm <sup>2</sup> 以上	61.5N/mm <sup>2</sup>
材齢28日付着強度	3N/mm <sup>2</sup> 以上	3.3N/mm <sup>2</sup>

準拠した規格・試験方法など:日本工業規格(JIS)、日本道路公団規格(JHS)、土木学会基準(JSCE)、公共建築工事標準仕様書

【流動性】



【圧縮強度】



本カタログ内測定値は試験・実験施設内でのデータです。施工現場での実測値はこのデータより変動する場合があります。

## 練り混ぜの手順

### 1. 施工上の注意

- 気温5℃以下の施工は避けて下さい。
- 本品と他の材料との混合は避けて下さい。
- コンクリート面などの施工箇所との付着を良好にするために、適当な目あらし、レイタンス、油分などの除去を行い、打設箇所には余剰水無く湿潤状態を保つための処置を行なって下さい。

### 2. 練り混ぜ

- 練り混ぜの手順は右図に従い行って下さい。
- 混練機はハンドミキサーやグラウトミキサー等の高速回転タイプを使用して下さい。また、アルミ製の羽などのミキサーは、練り混ぜ後モルタルが異常膨張を起こしますので使用しないで下さい。
- 1袋(25kg)に付き4.2~4.8ℓ程度の水量で調整して下さい。
- 水量の調整は、気温、材料温度、ミキサー形式などの条件で左右されますので、使用前に必要なに応じて試験練りを行ない、各物性の確認をして下さい。
- 規定の水量よりも多くなると、材料分離、ブリーディングの発生、強度低下など品質に悪影響をもたらしますので、注意して下さい。
- 破袋した製品や一度開封して放置した製品は、品質が低下している恐れがありますので、使用しないで下さい。

### 3. 充填施工

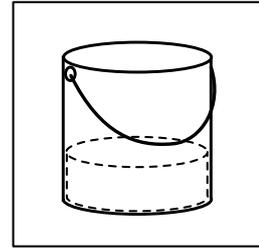
- 充填は連続的に行なうようにして下さい。コールドジョイントの原因になります。
- モルタルの充填は、振動締固めによる方法は不適切です。条件に応じて、自己充填やポンプ注入などの方法をとって下さい。
- 施工後の天端面の仕上にはコテなどを使用して下さい。

### 4. 養生

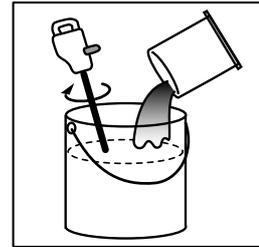
- 施工後直射日光、通風による急激な乾燥などが起こらないように湿布などで覆い、湿潤状態にして下さい。
- 養生が不足した場合や、急激な乾燥を受けた場合は、ひび割れが発生する可能性がありますのでご注意ください。
- 初期養生は平温時では2日以上、冬期で3日以上行なって下さい。

※本製品の仕様は予告なく変更する場合があります。記載内容は施工保証するものではありません。

- ① 容器に使用する練り混ぜ水を全量投入します。



- ② ハンドミキサーで攪拌しながらグラウト材を徐々に投入します。



- ③ 全体が均一になるように約90~120秒間練り混ぜて下さい。



- ④ 混練状態を確認した後、排出して下さい。

#### 配合例

使用量	トーヨー 無収縮グラウト材汎用	練り混ぜ水	練り上り量
1m <sup>3</sup> 当り	1875kg (75袋)	338kg	1000 ℓ
1袋当り	25kg (1袋)	4.5kg	約13.5 ℓ

#### 危険

- ・発がんのおそれ
- ・重篤な皮膚の薬傷
- ・重篤な目の損傷
- ・呼吸器系の障害
- ・長期または反復暴露による呼吸器系、腎臓の障害



#### ● 注意事項

- 【安全対策】**
- ・子供の手の届かないところにおくこと。
  - ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
  - ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
  - ・この製品を使用する時には、飲食または喫煙をしない。
  - ・粉じんを吸入しないこと。
  - ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- 【応急処置】**
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
  - ・皮膚、髪に付着した場合、流水/シャワーで洗うこと。
  - ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
  - ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
  - ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
  - ・暴露またはその懸念がある場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 【保管】**
- ・濡れる場所、多湿の場所の保管は避けること。
  - ・直射日光を避けた屋内で保管すること。
  - ・施錠して保管すること。
- 【廃棄】**
- ・都道府県/市町村の規則に従って内容物、容器を廃棄すること。

● 取扱い前に安全データシートを必ずお読みください。



ISO 9001, ISO 14001 認証取得

トーヨーマテラン株式会社

〒480-0303 愛知県春日井市明知町1512番地  
TEL 0568-88-3322 FAX 0568-88-2685  
http://www.matelan.co.jp